

art-ZINE: 冊子型アート・コミュニケーション

2011.6.11 sat - 9.25 sun 金沢21世紀美術館デザインギャラリー



展覧会名	art-ZINE: 冊子型アート・コミュニケーション		
会期	2011年6月11日(土) → 9月25日(日)		
	開場時間 / 10時~18時(金・土曜日は20時まで)		
	休場日 / 月曜日(7月18日、8月15日、9月19日は開場)、7月19日、9月20日		
会場	金沢21世紀美術館 デザインギャラリー	料金	無料
出品点数	89点(今後、公募作品を追加展示) ※6月25日(土)現在 32点の応募があります。		
主催	金沢21世紀美術館 [(公財)金沢芸術創造財団]		
協力	藤田製本印刷株式会社		
お問い合わせ	金沢21世紀美術館 TEL076-220-2800		

本資料に関する
お問い合わせ

金沢21世紀美術館 展覧会担当/高橋 広報担当/黒田・落合・沢井
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2806
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



展覧会について

art-ZINEとは何か

「ZINE」とは、表現したい人がコピーやプリンター等で少部数作り、販売／交換する冊子のことを指します。本展ではアート表現として制作されたZINEを「^{アートジン}art-ZINE」と呼び、アートにおける新たな表現の場として着目します。ZINEは本来、複数部発行されるもので、一品制作のアート作品とは異なり、「アート・ブック」とも区別されます。既存の書籍流通システムを通さず、独自の流通で作り手と読み手をつなぐZINEは、新たなコミュニケーションをもたらすアート表現としての可能性が期待されます。

会期中、公募により集まったart-ZINEも会場内の書棚に並んでいきます。集まった一冊一冊から、みなさんと一緒に「art-ZINEとは何か」について考えていきたいと思っています。(キュレーター：高橋律子)

展覧会の構成

art-ZINE ライブラリー

本展は、自由にart-ZINEを閲覧できるライブラリーのような展覧会です。スイスのNievesやイギリスのCafé Royal Booksなど海外からのart-ZINEも多数集めました。少数しか発行されないため、なかなかかためてみることのできない貴重なart-ZINEと出会える場を作り出します。



1,2
「art-ZINE:冊子型アート
コミュニケーション」展示風景
金沢21世紀美術館



Chad VAN GAALLEN
DARK PISS, NIEVES, 2010



Takashi HOMMA
NURSERY, NIEVES, 2010



Craig ATKINSON JANUARY FEBRUARY 2011,
CAFÉ ROYAL BOOKS, 2011

アップデート・プログラム

本展では会期中art-ZINEを募集し、随時会場内に置いていきます。すでに作られている方はもちろん、展覧会でその魅力を知った方も、ぜひご自分のart-ZINE作りに挑戦してください。

※6月25日(土)現在 32点の応募があります。

art-ZINE募集

■応募条件

- ・個人あるいはグループのアート表現として制作されたZINE1部。
- ・コピーやプリンター出力等で複数部発行された冊子に限定いたします。
- ・応募していただいたart-ZINEを評価することはございませんが、表現の内容によっては会場内に置けない場合もありますことをご了承ください。
- ・会場内での閲覧状況によって破損が激しい場合は、閲覧を終了させていただきます。
- ・応募していただいたart-ZINEの画像を広報媒体やウェブサイト等で使用させていただく場合がございます。
- ・返却はいたしません。

■応募方法

1.名前 / 2.住所 / 3.電話番号 / 4.メールアドレス / 5.art-ZINEのタイトル /
6.発行者 / 7.発行部数 / 8.発行年
をご記入の上、下記まで郵送にてご応募下さい。

■応募〆切 9月23日(金)必着

■宛先

金沢21世紀美術館「art-ZINE」係
〒920-8509 石川県金沢市広坂1-2-1
お問い合わせ:金沢21世紀美術館(担当 高橋) TEL 076-220-2801

シンポジウム 「ZINEの未来形 FANZINE・ZINE・art-ZINE」

最終日のシンポジウムでは、集まった一冊一冊から「art-ZINEとは何か」について議論し、本展の結論にしたいと考えています。パネリストの3名はいずれも異なる立場からZINEに深く関わられている方々で、熱い議論が展開されます。

[日時] 9月25日(日) 14:00-16:00 [会場] 金沢21世紀美術館 レクチャーホール

[定員] 先着80名 [料金] 無料

[パネリスト] (敬称略、五十音順)

江口宏志 (ZINE'S MATE / UTRECHT)

インディペンデントなアートブックを取り扱う書店「ユトレヒト」代表。また、ZINE'S MATE主宰し、共同ディレクターとして「THE TOKYO ART BOOK FAIR」の企画、運営を行う。日本でアートとしてのZINEを広めたひとり。

野中モモ (Lilimag)

アートとエンターテインメント分野を中心に文筆、翻訳、編集等を手がけるとともに、オンラインZINEショップ「Lilimag Store」を主宰する。ZINEを、幅広い表現を包括する自主出版の試みであると捉え、個人の意思で作られる本周辺文化に注目する。

福田淳 (ソニー・デジタルエンタテインメント)

ソニー・デジタルエンタテインメント社長。2005年より電子書籍サイトを手掛け、2009年には現代アート「S-des Gallery」オープン。同時に全編シルクスクリーンのart-ZINE出版も手がける。2011年より電子書籍のノウハウとリアルアートとの融合を目指した「e-ART ZINE」の分野を追求する。

関連イベント

ワークショップ1 「ZINEを作ろう」

福井のオルタナティブスペースFLATを基点にZINEのワークショップを展開する製本、印刷のプロが本展にあわせてワークショップを開催。art-ZINEを作ってみたいけれど、どうやって冊子にしたらいいかわからないという方、おもしろい冊子の作り方を知りたいという方、ぜひご参加ください。コンテンツは自由。紙や大きいホッチキス、糸など基本のart-ZINE作りに必要なものを用意しておきます。気軽に、初めてのart-ZINE作りにチャレンジしてみましょう。

[日時] ① 7月24日(日) 13:00~16:00

② 8月20日(土) 13:00~16:00

[会場] 金沢21世紀美術館 会議室1

[講師] 宮永英治、内原誉志正(藤田製本印刷株式会社)、内田裕規、杉本ふみ(株式会社ヒュージ)

[対象] 小学生以上 [定員] 各回とも10名(事前電話申込により先着順。TEL 076-280-2801)

[料金] 無料

ワークショップ2 「「ハジメテン」メンバーによるZINE講座」(仮)

アーティストチーム「ハジメテン」(飯川雄大、梅佳代、金氏徹平、川島小鳥、小橋陽介、西光祐輔、パトリック・ツァイ)のメンバーによるワークショップ開催を予定しています。現在のところ講師未定。

広報用画像

前頁の画像1~5を広報用にご提供致します。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。 Email: press@kanazawa21.jp

<使用条件>

※広報用画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットを必ずご表示ください。

※トリミングはご遠慮ください。キャプション等の文字が画像にかぶらないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正用原稿を広報室へお送りください。

※アーカイブの為、後日掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。

以上、ご理解・ご協力の程、何卒よろしく願っています。

art-ZINE の流れ

年代	海外／日本
1990年頃	【アメリカ】 ビジネス・コンビニ「キンコース」がアメリカ全土に進出。コピーとホットキスで作られるFANZINE (同人誌)が普及する。
1990年代初頭	【アメリカ／イギリス】 若い女性パンク・バンドを中心としたフェミニズム運動「Riot Grrrl(ライオット・ガール)」ムーブメントが起こり、バンド活動とともにZINEが発行され、読者が急激に増加した。
	  <p>※1 Riot Grrrlムーブメントの中心的バンド「BIKINI KILL」のFANZINE。(1990年代初頭)</p> <p>※2 Molly and AllisonやBIKINI KILLなどRiot Grrrlムーブメントの中心メンバーによるFANZINEやテープ募集の呼びかけ。(1992)</p>
1990年代後半	【アメリカ】 伝説的スケーターでもあり、アーティストでもあるマーク・ゴンザレスを中心にストリート・カルチャーのなかでアート表現としてのZINEが広がりを見せる。
	 <p>※3 Mark GONZALES, Harmony KORINE, ADULTHOOD, alleged press, 1995</p>
2001年頃	【日本】 東京渋谷の「タワーレコード」でZINEの販売開始。
2004年	【スイス】 小さな出版社「Nieves」のソマホルダー・ベンジャミンが、知り合いのアーティストに声をかけ定期的にZINEの発行を開始。
	 <p>※4 Tucker NICHOLS, MENU, Nieves, 2004</p>
2005年	【イギリス】 写真家のクレイグ・アトキンソン自身のZINEを含めたアーティストのZINEを出版販売するCafé Royal Booksを設立。
2006年	【日本】 写真家、平野太呂が自身のギャラリー「No.12 GALLERY」で、「Nieves」とZINEの展覧会「ZINE LIBRARY」を開催。(2010年に第2回を開催、継続予定)
2009年	【日本】 ZINE'S MATE主催「THE TOKYO ART BOOK FAIR」の開催(以降、毎年開催)。ZINEブームが加速する。(2011年第3回は7/16-18)
2010年	【スイス】 スイス人デザイナー、ウルス・レーニが主宰する「ロロ・プレス」の一連のZINEで、スイス・フェデラル・デザイン・アワードを受賞。

年表作成: 高橋律子

画像出典: ※1,2 Teal TRIGGS, *Fanzines*, Thames & Hudson, 2010※3 Harmony Korine with Mark GONZALES, *The Collected Fanzines*, Drag City, 2008※4 Nieves Booksウェブページ「Nieves Catalogue」 <http://www.nieves.ch/catalogue/catalogue.html>

主要参考文献: 大垣有香「Riot Grrrlというムーブメント」遊動社, 2000

「ジン・ライブラリー展」『アイディア』誠文堂新光社, 320号, 2007.1

「Zine's AGE」『ヒュージ』講談社, 60号, 2009.9

Mark TODD & Esther PEARL WATSO, Watcha Mean, *What's a Zine?*, Graphia, 2006Bill BRENT & Joe BIEL, *Make a Zine!*, MICROCOSM PUBLISHING, 2008Teal TRIGGS, *Fanzine*, Thames & Hudson, 2010

※この頁の画像は資料画像につき、広報用に提供していません。